

6. 本時の展開

(1) 題材

度数分布表から平均値を求める

(2) 目標

- ・みんなが、度数分布表から平均値を求め、そのよさや問題点について説明できるようになる
(関心・意欲・態度)
- ・度数分布表から平均値を求めることができる。
(技能)
- ・度数分布表から平均値を求めるよさと問題点を説明できる。
(見方や考え方)

(3) 展開

過程	時配	学習内容と生徒の活動	教師の支援・援助	評価・資料等
導入	10分	<p>○既習事項としての平均値を求める。</p> <p>K中学校1年男子の記録の平均値を求める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $(\text{平均値}) = (\text{資料の個々の値の合計}) \div (\text{資料の個数})$ </div> <p>○本時の課題が、多量の記録の平均値を度数分布表を利用して求めることができることを知り、それができるようになることと、その方法のよさと問題点を話し合い、友達に説明できるようになることを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①みんなが、度数分布表から平均値を求められるようになる ②みんなが、その方法の「よさ」と「問題点」を説明できるようになる</p> </div>	<p>・「みんなが、できるようになること」について確認する。</p> <p>・平均値の意味について確認する。平均値は、資料の傾向をみるためにある。</p>	<p>・プリント ・電卓</p> <p>○既習事項(平均値の意味)を理解しているか (知・理) 〔発表〕</p>
展開	10分	<p>○みんなで協力して、プリントの課題1～2と確認問題に取り組み、みんなが理解し、できるようになることを目指して取り組む。</p> <p>・本時の課題を達成するために、自由に活動する。</p> <p>・数名の生徒が離席し、相談を始める。</p>	<p>・課題と問題の答えを教卓の上に置き、答え合わせができるようにする。</p> <p>・黒板に、生徒番号の札を「スタート」の場所に貼り、課題①②が達成できたら、札を貼り替えることができるように「ゴール」場所をつくる。</p> <p>・生徒の様子を観察しながら、課題達成のために、よい情報を持っている生徒を、みんなが聞こえるようにほめる。</p> <p>・一人でできないことを相談することは、良いことであることを、みんなが聞こえるようにほめる。</p>	<p>・プリントの答え</p> <p>・生徒番号の札</p> <p>○度数分布表から平均値を求めることができたか (技能) 〔机間指導〕 〔掲示〕</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒は、黙々と教科書や以前のプリント等を見ながら、問題に取り組む。 数名の生徒は、何もしない。(遊んでいる生徒もいる) 	<ul style="list-style-type: none"> よく頑張っている生徒を、みんなが聞こえるように声をかける。 誰に聞いても良いと、みんなが聞こえるように声をかける。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> 数名の生徒が、プリントの課題と確認問題が解け、順に教卓上の答え等を利用して、答え合わせをし、黒板の生徒番号の札をスタートからゴール①に貼り替える。 いち早く課題を達成した生徒は、まだ達成していない生徒を教える。 <p>◎教室の彼方此方で、「学び合い」が行われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> いち早く課題を達成した生徒をみんなが聞こえるようにほめ、「今日も、きっとみんながゴールできよ」と声をかける。 「教える」ことが最も良い学習方法であることを呼びかける。 「プリントができた」で終わらず、本時の課題を、みんなが達成するように呼びかける。 	<p>○みんなが、できるようになることを目指して取り組めたか(関心) [机間指導]</p>
10分	<ul style="list-style-type: none"> 半数近くの生徒が、プリントの課題と確認問題が解け、番号の札をスタートからゴール①に貼り替える。 <p>○度数分布表から平均値を求める方法のよさと問題点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①にゴールした生徒同士でも、「よさ」や「問題点」について話し合う。 <p>○「よさ」や「問題点」について、次のことに気付く。</p> <p>I) 資料が大量なときは、度数分布表を作った方が、資料の全体の傾向が分かるので、度数分布表を作って、平均値もそこから求めた方が、資料の特徴をより把握することができる</p> <p>II) 各階級のどの記録も、その階級の階級値であるから見なしているため違いが生まれてしまう。</p> <p>III) 2つの方法で求めた違う値の平均値は、どちらも近い値なので、どちらも平均値と見なしてよいことに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数名の生徒がゴールできずにいるが、その生徒に何人かの生徒が関わっている。 予定の時間で終わり、生徒を着席させる。 	<ul style="list-style-type: none"> まだ、ゴールしていない生徒がいることを伝え、教えに行くように促す。 この方法のよさと問題点について、説明するように促す。 よい気付きや考えを持っている生徒を、みんなに聞こえるようにほめる。 教卓の上の答えプリントに、ヒントを書いておく。 <p><ヒント></p> <p>i) 度数分布表を作っているときと、作っていないときは…</p> <p>ii) 資料の個数が多いときと少ないときは…</p> <p>iii) なぜ、2つの方法で求めた平均値は違うのだろうか？</p> <p>iv) 2つの方法で求めた違う値の平均値は、どちらが本当の平均値なのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間内でゴールできないのは、できなかった生徒の責任ではなく、「みんな」の責任であることを確認し、次回は全員がゴールできるようにしようと呼びかける。 	<p>○度数分布表から平均値を求めるよさと問題点を説明することができたか(見方) [机間指導]</p>

まとめ	10分	<ul style="list-style-type: none"> 確認テストを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 答え合わせをし、度数分布表から平均値を求めることができるようになったかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 確認テスト ○度数分布表から平均値を求めることができたか (技能) ○度数分布表から平均値を求めるよさと問題点を説明できたか (見方) [小テスト]
-----	-----	---	---	---

(4) 評価

- みんなが、度数分布表から平均値を求め、そのよさや問題点について説明できるようになることを目指して取り組むことができたか。 (関心・意欲・態度)
- 度数分布表から平均値を求めることができたか。 (技能)
- 度数分布表から平均値を求めるよさと問題点を説明できたか。 (見方・考え方)